

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FM ポータブルラジオ		★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RAD-T785Z-H RAD-T785Z-WK	品番	03-5057 03-5058	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)		
お客様	ふりがな					
	★お名前					
	★ご住所 〒					
電話 ()						

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話
	(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

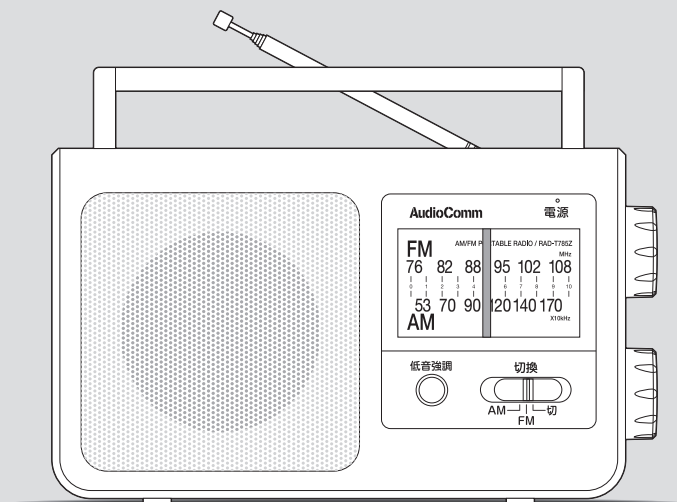
AudioComm®

AM/FM ポータブルラジオ

保証書付 取扱説明書

型番：RAD-T785Z-H/WK

品番：03-5057/5058



このたびは、AudioComm® AM/FM ポータブルラジオを
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目 次

免責事項	1
安全上のご注意	2~4
各部の名称	5
電源について	6
ラジオを聴く	7
外部機器と接続し本機をスピーカーとして使う	8
低音強調について	8
イヤホンで聴くときは	9
故障かなと思ったら	9
お手入れのしかた	9
主な仕様	10
保証書とアフターサービスについて	10
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 接続場所を選ぶ	電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電の原因となります。

警告

 乾電池に注意	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。	 禁止	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。
 水かけ禁止	本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない ●感電や故障の原因となります。		本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるような物を置かない
 使用を中止する	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		本機の上に花瓶などの水が入った物を置かない ●火災・感電の原因となります。
 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。 狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。		電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重い物を載せてしまい、火災・感電の原因となります。 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●電源コードが破損して火災・感電の原因となります。
			本機や電源コードの上に重い物を載せたり、電源コードの上に本機を載せない ●電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

注意

 コンセントから抜く	旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となります。	 掃除をする	電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまりと自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
 ぬれ手禁止	お手入れの際や移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。	 音量に注意	音量を上げすぎない ●大きな音量で長時間続けて聴くと、周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を与えることがあります。

注意

 乾電池の極性に注意	乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 禁止	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		電源コードを熱器具に近づけない ●電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告

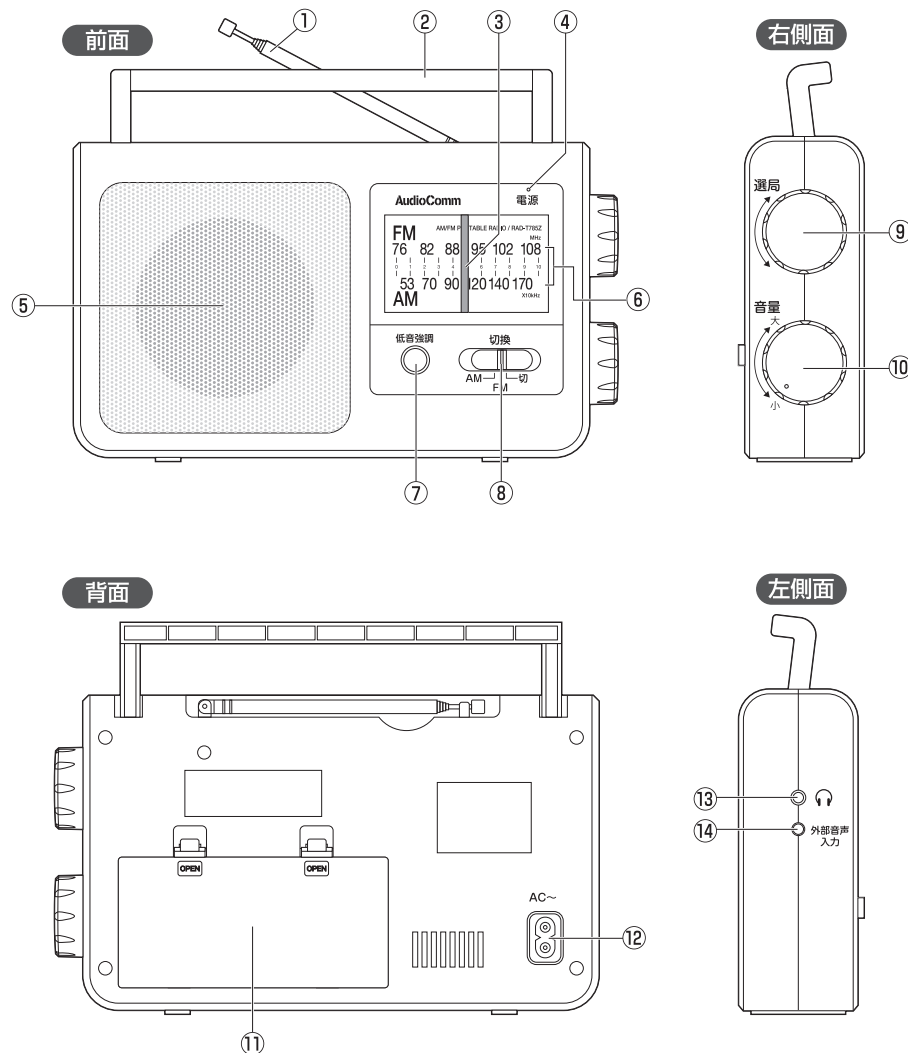
- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称



- | | |
|-------------|----------------|
| ① FMロッドアンテナ | ⑧ 電源／バンド切換スイッチ |
| ② キャリーハンドル | ⑨ 選局ツマミ |
| ③ 選局指針 | ⑩ 音量ツマミ |
| ④ 電源ランプ | ⑪ 電池ボックスカバー |
| ⑤ スピーカー | ⑫ AC100V電源ソケット |
| ⑥ 選局目盛り | ⑬ イヤホン端子 |
| ⑦ 低音強調ボタン | ⑭ 外部音声入力端子 |

電源について

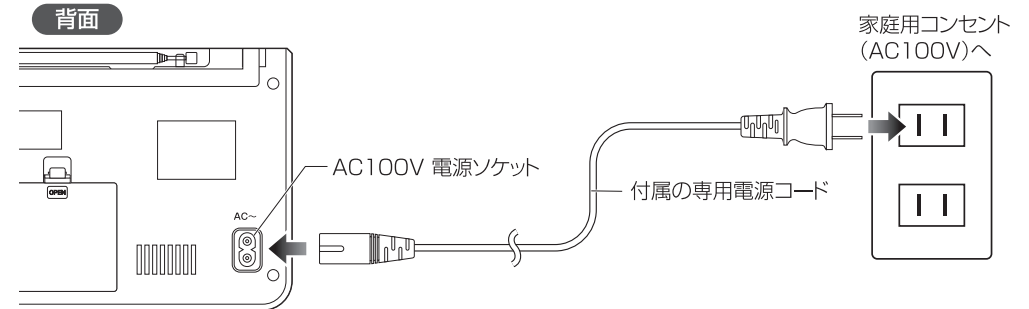


- 専用電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。
- 電源を入れる前に音量を絞ってください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源で使う場合

付属の専用電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

- 乾電池が入っている場合でも、専用電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
- 本機を使用しないときは専用電源コードを家庭用コンセントから抜いてください。



重要

付属の専用電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には、必ず付属の専用電源コードをお使いください。また、付属の専用電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池で使う場合

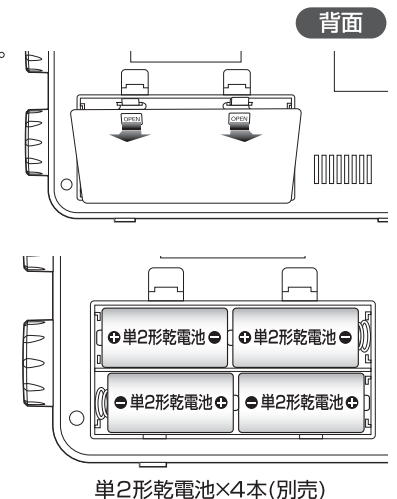
アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

※長時間使用するときは付属の専用電源コードをお使いください。

- 1 背面にある電池カバーのツメを押し下げながら手前に引き、電池ボックスカバーを開けます。

- 2 単2形乾電池×4本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら図のように正しく入れます。
コイルばねのあるほうが⊖です。
乾電池は⊖側から先に入れてください。

- 3 乾電池を入れたら、電池ボックスカバーを元どおりに閉めます。



単2形乾電池×4本(別売)

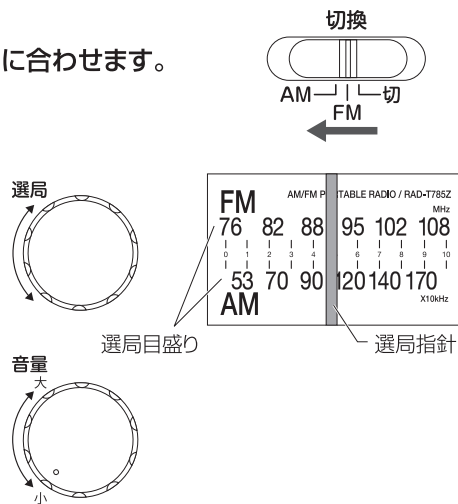
ラジオを聴く

- 1 お聴きになりたいバンドに応じて電源／バンド切換スイッチをAMまたはFMに合わせます。

電源が入り、電源ランプ(赤)が点灯します。
音量は絞った状態にしておいてください。

- 2 選局つまみを回してお聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

選局指針と選局目盛りを見ながら操作してください。

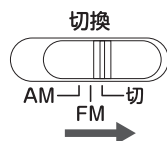


- 3 音量つまみを回して、音量を調節します。

音量の上げすぎにご注意ください。

- 4 終了するときは、電源／バンド切換スイッチを切に合わせます。

電源ランプ(赤)が消灯し、電源が切れます。



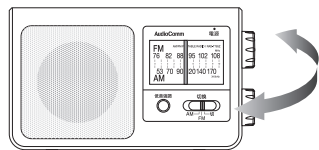
FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。
FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信状態を良くするには

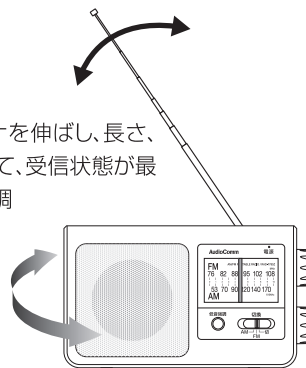
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送の受信

FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節してください。



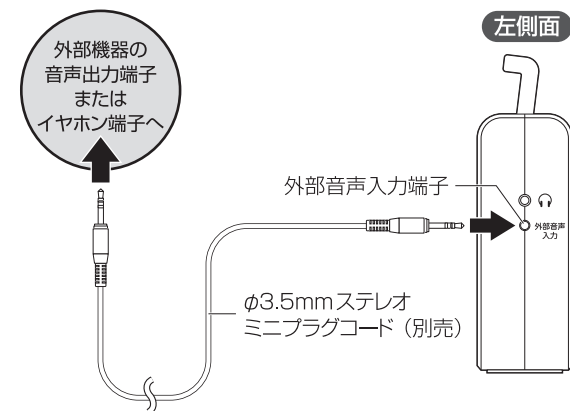
ご注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。
- 持ち運ぶときは目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めてください。

外部機器と接続し本機をスピーカーとして使う

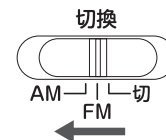
別売のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、外部機器(ポータブルCDプレーヤー、MDプレーヤー、デジタルオーディオプレーヤーなど)と接続し、音楽や音声を楽しむことができます。

- 1 本機及び外部機器の電源が切れている状態で、右図のように接続します。



- 2 外部機器の電源を入れ、本機の電源／バンド切換スイッチをAMまたはFMに合わせます。

外部音声入力端子にプラグが差し込まれているときは、本機の電源を入れると、緑色の電源ランプが点灯し、外部音声入力モードになります(ラジオを聴くことはできません)。



- 3 外部機器側で再生などの操作をします。

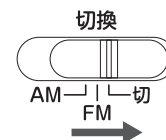
- 4 音量を調節します。

ご注意

音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくしすぎると、ラジオに戻ったとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

- 5 終了するときは双方の電源を切ります。

接続を解除するときは、必ず双方の機器の電源を切ってから行なってください。

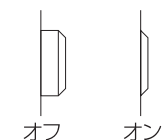


低音強調について

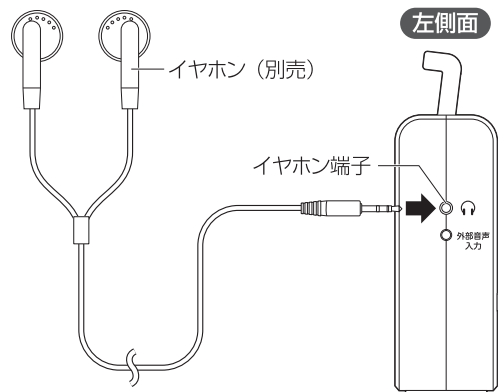
低音強調



低音強調ボタンを押し込むと、低音域が強調された音楽や音声を楽しむことができます。低音強調を解除するには、もう一度押し込んだ後、指を離してください。



イヤホンで聴くときは



左側面

- 別売のイヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用时、イヤホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じて聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は乾電池でご使用ください。

ご注意

本機のイヤホン端子はステレオ仕様です。モノラルイヤホンを使うと左音声のみの出力となりますのでご注意ください。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源プラグは正しく家庭用コンセントに接続されていますか。 ●乾電池は正しく入っていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。
ラジオの音が出ない	●電源／バンド切換スイッチが正しくAMまたはFMの位置にありますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
外部音声入力端子からの音が出ない	●外部機器と本機が正しく接続されていますか。 ●電源／バンド切換スイッチが正しくAMまたはFMの位置にありますか。 ●本機または外部機器側の音量が最小になっていませんか。

お手入れのしかた

- 本機表面が汚れたら、柔らかな布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 電源プラグにほこりがたまると、発火する危険があります。電源プラグを家庭用コンセントから抜いて時々清掃してください。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

主な仕様

電源	AC 100V～ 50 / 60Hz DC6V 単2形乾電池×4本(別売)
消費電力	3W
受信周波数	AM: 530～1700kHz FM: 76～108MHz(FM補完放送「ワイドFM」対応)
スピーカー	口径76mm×1
定格出力	500mW
アンテナ	AM: 内蔵フェライトバーアンテナ FM: ロッドアンテナ
乾電池での連続使用可能時間の目安※1	スピーカー出力時: AM受信 / 約75時間 FM受信 / 約65時間 AUX / 約52時間 イヤホン使用時: AM受信 / 約113時間 FM受信 / 約121時間 AUX / 約91時間
外形寸法	幅233×高さ136×奥行62mm(キャリーハンドル収納時)
質量	約570g(乾電池を含まず)
付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書

※1 アルカリ乾電池新品使用、音量中程度の場合の目安です。使用環境により異なります。

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。